



# TSUNAGI

つなぎ議会だより

11  
NOVEMBER

つなぎ議会だより

2019.11

9月第3回定例会 令和元年度補正予算などを審議

つなぎも  
ONE TEAM!



つなぎ陸上クラブ 第45回熊日学童オリンピックにおいて5人入賞!

P 2・3	令和元年度一般会計5,650万円の追加
P 4・5	平成30年度歳入歳出決算を審議
P 6～9	一般質問 4人の議員が登壇
P 10～13	<b>特集</b> 特集「わが町を知る」地区別人口グラフ
P 14	インタビュー 夢つなぎ人

発行：熊本県津奈木町議会  
編集：議会広報委員会

〒869-5692 熊本県葦北郡津奈木町小津奈木2123  
☎0966-785351

印刷：旭印刷株式会社

インタビュー

## 夢つなぎ人



お菓子の国 桜戸地区  
あんさんく  
長友美波さんに  
うかがいました。

プロフィール  
長友美波 (ながとも みなみ)  
昭和63年5月11日生 31歳  
商工会 伴走型小規模事業者推  
進支援事業メンバー  
日本洋菓子協会連合会 実技コ  
ンテスト部門連合会長賞受賞

### 私のケーキでつなぎを元気に!

なぜ。パティシエに？

洋菓子が日常であったことや、お客様と接する仕事に魅力を感じました。そして、お祝い事のために作ってあげられる喜び、小さい時はキラキラ感がとてもありまし

た。この思いが途絶えることなく続き、高校を卒業後に鹿児島のお店競争率10倍の難関を克服、6年間お世話になりました。お店での仕事は、朝早くから夜遅くまでとてもハードで、思っていたより厳しかったです。

#### 新商品にかける

思いと夢

鹿児島島の仕事で助手を務めた事がきっかけで宮崎のシェフと出会い、4年半お世話になって、津奈木に帰ってきました。



亀萬酒造とコラボした祝杯プリン

の美味しいものを知ってもらえると嬉しく思います。

今のところ、周りからの情報をもとに、生産者に自分でアポを取っていますが、繋いでくれる場所があると助かります。

私のケーキがきっかけとなって、津奈木に来てもらえるように努力していきます。

#### 編集後記

花野風が心地よさを感じる今日この頃。

まず、先日の台風19号で犠牲になられた方々、被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

温暖化によって、想定外の災害が多くなっています。先ずできることは、町のハザードマップを利用して避難の経路などを十分に把握することが重要です。また、家庭には、最低3日分の水や食糧を備蓄しておきましょう。とにかく「備えあれば憂いなし」!

橋口 知恵子

#### 議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	宮嶋 弘行
委員	橋口知恵子
委員	澤井 静代
委員	上村 勝法

# 令和元年 第3回定例会 補正予算、条例改正、人事案件 などを審議

陳情1件を採択し、意見書を提出

## 質疑応答

9月定例会が、9月10日から27日までの18日間の会期で開催されました。  
本定例会には、令和元年度一般・特別会計補正予算、条例の一部改正および平成30年度歳入歳出決算の認定など19議案が提出され、全てを可決しました。  
なお、津奈木町教育委員会教育長および教育委員の任命同意が審議され、教育長に塩山一之氏、教育委員に林田雄二氏の再任に同意しました。

### 一般会計補正予算（第2号）

**問** 財産管理費の工事請負費で、旧平国小学校トイレ改修工事で589万7千円の増額になっているが、増額の理由と工事内容は。

**答** 当初予算では各便器、手洗い器具などの取り換え工事のみの予定であった。今後の平国小学校跡地活用については、企業誘致や地場産業の育成

などの拠点施設として整備を行う位置づけで、誰でも利用しやすいようにバリアフリー型の乾式トイレに改修するため増額である。

**問** 当初予算の680万円は、ある程度のことを見て予算をつけたと思うが、当初予算時には、必要となるを吟味して予算に出していただきたいものである。トイレがきれいに

なった後の管理はどのようにするのか。

**答** 平国小学校と赤崎小学校を合わせた形で廃校の利活用を考えている。平国小学校は、IT企業や産業振興などの形で整備を進め、赤崎小学校は、アートプロジェクトの実施場所としてトレーラーハウスなどの計画も上がっている。両方を連携させながら跡地利活用を図る計画である。現在の管理は総務課で、企業などが入れればその管理となる。

ることから、160万円の計上をしている。

**問** 地域振興費、起業・業務拡大事業補助金の297万円の内容は。

**答** 地方創生総合戦略に基づき「小さくて強い産業づくり事業」で、当初予算では500万円計上していたが、本年度募集したところ3件の応募があり、合計797万円の申請があった。内容は海産物加工製造設備、農業用ドローン導入、農業体験施設建設である。

**問** 企画費の空き家リフォーム事業補助金と空き家財道具処分等補助金とあるが、何件の登録があるのか。

**答** 現在、登録件数は、13件で、そのうち3件が契約済みである。なお、契約交渉中の物件が2件ある。

**問** 観光費、露天風呂雑木伐採業務委託料の内容は。

**答** 6月の補正予算への追加で、露天風呂の雑木を人力で撤去する予定が、伐採時の枝倒れや

屋根への落下、滝や植木を痛める危険性が大きく、クレーンの導入を再度検討した。クレーン導入費用と重盤岩眼鏡橋付近のクスノキの枝の伐採、処分費の追加である。

**問** 6月の予算を組む時点で全部の把握をする必要があったのではないかと。職員はかわったのか。

**答** 職員は業者と一緒に現場に入り、人力での作業を進めていたが、人力では作業員の危険が伴うということで追加を行った。予算措置については協議を密に行い、追加要求が極力ないように努めたい。

**答** 赤崎漁村センターは建設後35年経過しており、改修が必要となっている。本年度は設計委託を行うが、地区の避難所などで、強化ガラスなどに交換することも計画している。

**問** 全国大会出場補助金の内容は。

**答** 本年度は当初予算で45万円計上していたが、現在までの交付決定額は全国大会に個人2人と団体1団体、九州大会が個人

**問** 海洋センター費で、B&G艇庫クレーン更新工事とあるが、その内容は。

**答** このクレーンは、設置してから17年が経過し、海辺に近いこともあり、傷みがひどくなっている。今回、不良箇所の部品が入手困難で、今後、他の破損なども想定されるので、更新工事の計画をした。

**問** 今回のつなぎの里が開設した小規模多機能型住宅介護施設ひまわりが、グループホームおよび

認知デイサービスに変わるということだが、介護保険料には影響しないのか。

**答** 保険料は3年間の計画なので途中での変更はない。そのまま据え置きである。

### 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

### 令和元年度9月補正予算の主な事業

事業名	予算額	事業内容
旧平国小学校トイレ改修工事	5,897千円	トイレを乾式などに設計変更したため工事費を追加
空き家リフォーム事業等補助金	1,600千円	空き家バンクの契約見込みにより、リフォーム事業および家財道具処分等補助金を追加
起業・業務拡大事業補助金	2,970千円	町内事業者の業務拡大を支援するため追加
保育所等副食費扶助費	1,026千円	3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化に伴い、副食費の実費負担を無償化とするもの
中尾多目的集会所浄化槽等移転工事	3,058千円	防砂・安全交付金事業の工事用道路に使用するため、集会所浄化槽などの移転工事費
赤崎漁村センター外壁等改修工事設計業務委託料	2,416千円	老朽化している外壁などを改修するための設計費
土砂災害危険住宅移転促進事業補助金	6,000千円	平国地区2世帯分の土砂災害危険住宅移転促進事業補助金
B & G 艇庫クレーン更新工事	3,292千円	老朽化したクレーンの更新

# 平成30年度 一般会計 特別会計決算 歳出総額 48億8,557万円

会計区分		歳入	歳出	差引額
一般会計		31億9,917万円	30億449万円	1億9,468万円
特別会計	国民健康保険	11億7,784万円	8億9,740万円	2億8,044万円
	後期高齢者医療	8,129万円	7,884万円	245万円
	簡易水道事業	1億8,242万円	1億6,622万円	1,620万円
	介護保険事業	8億767万円	7億2,660万円	8,107万円
	恒久対策事業	1,580万円	1,194万円	386万円
宅地对策事業	1,166万円	8万円	1,158万円	



総務振興常任委員会の現地説明

**問** 防犯灯のLED化について、全箇所対応できないか。

**答** 新規設置や修繕不可の場合はLEDで設置するようにしている。既存の防犯灯については業者の判断や予算の範囲内でLED化に対応していく。

## 教育住民常任委員会

### 委員会付託事案

- 平成30年度津奈木町一般会計決算（教育住民常任委員会所管分）
- 平成30年度津奈木町国民健康保険事業特別会計決算
- 平成30年度津奈木町後期高齢者医療事業特別会計決算
- 平成30年度津奈木町介護保険事業特別会計決算
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、令和2年度政府予算に係る意見書提出を求める陳情書

### 質疑応答

**問** 個人番号カード関連業務で、マイナンバーカードの交付件数と、今後の方針は。

## 各常任委員会の審議状況

本会議において、平成30年度決算などが各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、9月27日の本会議において認定・採択されました。

## 総務振興常任委員会

### 委員会付託事案

- 平成30年度津奈木町一般会計決算（総務振興常任委員会所管分）
- 平成30年度津奈木町簡易水道事業特別会計決算
- 平成30年度津奈木町恒久対策事業特別会計決算
- 平成30年度津奈木町宅地对策事業特別会計決算

### 質疑応答

**問** 財産管理費の委託料で、小津奈木工業団地の産廃は、倉谷工業団

地と同様に処分する計画はあるのか。

**答** 倉谷工業団地と同じ木毛セメントのため、保健所からは倉谷工業団地と併せて処分するように指導があつています。まずは倉谷工業団地から処分を行っている。木毛セメントは健康被害には影響ないとのことだったが、近くに民家や施設などもあるため、財政負担も考慮し計画的に処分を行う予定であるが、あと数十年かかると思われる。

**問** 地域振興費で、活性化委員会は何人で、どういった活動をしているのか。また、企画として取り入れられたものはあるのか。

**答** 任期は3年で委員数は14人である。最終年度に提言書を取りまとめ、町長や経済団体などの長を呼んで座談会方式で提言書を提出している。昨年では、毎年3月末に開催するウォークラリー大会の企画会議などに留まった。本年度は「多くの人が訪れるまちづくり」をテーマに話し合いを行い、提言書のとりまとめを行っている。これまででは提言書の提出が最終年度末だったので、町の施策や次年度当初予算への反映が難しかったことから、今期は当初予算に反映できるように、例年より前倒しして11月中には提言書を作れるようなスケジュールを組んでいく。



教育住民常任委員会の審議状況

**問** 子ども医療費は、高校3年生まで対象になったが、高校生の分はどれくらい増額になったのか。

**答** 平成30年実績で、高校1年から3年生が117人、助成額194万2769円、延べ申請件数906件となっている。

**問** 給食センターは老朽化しており、毎年機器の入れ替などを行っているが、今後、機器の更新はあるのか。

**答** ほとんどの機器が耐用年数を過ぎており、故障などには補正予算で対応している。来年度当初予算から過疎債の対象となるように、計画的な更新を検討中である。

**問** 地域未来塾については、学識経験者の意見として、経済的な理由や家庭環境の悪化により、十分な学習が出来ない子どもたちのために、継続して欲しい。とのことだが、今後より充実した事業となるよう検討できないか。

**答** 運営委員会で、現在の3～5日程度開催してはどうかとの意見も出ているので、今後検討をする。



## 町内に子どもの成長の足跡を残すために

橋口 知恵子 議員

### 子どもの手型アート作品を作り設置できないか

**問** 「緑と彫刻のある町」をキャッチフレーズに、町全体を美術館としているが、有名人の彫刻のみで町民が参加している作品が少ない。子どもの成長の足跡を残すために、手型のアート作品を作り設置できないか。

**答** 野外彫刻（パブリックアート）は、緑と彫刻のある町づくりをコンセプトに設置したものである。まだ美術館がない時代に町民の方々に芸術性の高い作品にふれてもらいたいと思い、彫刻と自然がおりなす空間にふれるということで、個性ある見方や多様な価値観が生まれるのではないかと、そういう文化的な雰囲気の醸成が住みたくなる町づくりを形成していくという思いが込められている。手型のアート作品は、緑と彫刻のある町づくりのコンセプトに合致しないので設置は難しい。

### 就学援助金制度の入学準備金は入学前に！

**問** 平成29年3月議会で、要保護・準要保護の就学援助金の入学準備金は、入学前に間に合うようにとの答弁であったがその後の進捗状況は。

**答** 要保護は修学旅行費のみが対象である。準要保護の入学準備金については、来年の新入生から入学前に間に合うよう協議を行っていききたい。



### 18歳以下の国民健康保険税を減免できないか？

**問** 芦北町は、本年4月1日に遡って実施される。自営業や農家の世帯主には負担が大きいいため、子育て支援の一環として行うべきでは。現在の国保診療支払基金残額は、7億497万8891円である。

**答** 国民健康保険の世帯数は、798世帯、被保険者は1250人、18歳以下は74人である。18歳以下の均等割は2万6100円で減免する場合の費用は、193万1400円であるが、国保税減免対象者の減免を考慮すると、約135万円となる。

数字的には可能と考えるが、全国的な国保税という考えのもとでなっていると思っている。全国的に議論が出ているので、今後注視していきたい。

### 町営住宅の居住放置はどうか？

**問** 竹中団地内に長期にわたる居住放置が見受けられる。対策を依頼しているがどのような対策を行っているのか。町側の管理が十分ではないと考えるが予防策は。

**答** 町営住宅などは、長期不在などの情報が寄せられた場合、その都度、調査や本人への聞き取り、面談など行い事実関係を確認している。本人が住んでいないと認めた場合は退去を促している。不在期間が長期でなく、何らかの理由による一時的なものであれば、留守居届を提出してもらい、住宅の管理を適正に行うことにしている。

予防策は、巡回、パトロール、地域の方々から情報提供をもらうなど、細かい対応策が必要になると考えている。

## 『住みたくなる町』になるには

宮嶋 弘行 議員



### 町営住宅における現状は

**問** 丸岡団地をはじめ、町営住宅の入居者募集の状況はどうなっているか。

**答** 丸岡団地については年々退居者が増加し、令和元年8月現在8戸空室となっている。他の町営住宅・定住促進住宅については、ほとんどが入居されている状況である。



**問** 丸岡団地に関しては、入居者が確保できない要因として、所得による家賃問題が原因と考えられるが、町内に住んで頂くための、対応と対策はないのか。

**答** 丸岡団地に関しては、公営住宅法に基づく町営住宅管理条例で、入居者資格が規定する収入月額15万8千円以下となっている。入居後、家族構成・所得額の変更により家賃が高額になる場合がある。

住宅からの転出者においては、民間へのアパートの建築補助を行いアパート建築の後押しを行い、町の魅力発信に努力している。

また、高額所得者については、町内へ新築していただけるように土地案内と町内業者利用による補助金を行っている。

### 活気あるイベントにするには

**問** ふれあい祭りも29回目となり、マンネリ化と消化型になってないか。

**答** 毎年、各部門の反省と要望事項を集約し、新規と既存の改善に取り組んでいる。今後もマンネリ化と消化型にならないよう取り組む。

**問** ブロンズマラソン大会も29回目となり、大会実行委員会で今後のスタッフ確保などが厳しくなりつつあるため、30回をめでに終わりにしたいとの意見が出ているが、どのような考えか。

**答** 毎年好評の大会であり、ふれあい祭りの中でも集客と経済効果もあり、町のPRにも寄与している。また、子どもから大人まで参加できるイベントで、福祉や健康増進の一躍を担っている。今後も継続の考えで検討する。

### もっと元気なまちづくりを

**問** 水俣市のサンエレクトロニクス閉鎖に伴う町の雇用環境と町内失業者に対する支援策はないのか。

**答** 雇用については、地方創生推進交付金事業の活用を行い、小さくて強い産業づくり事業に取り組んでいる。新規産業、業務拡大の件数が2件、新規雇用が6名で今後も同様の事業を行っていく。失業者に関しては国民健康保険税の軽減など、既存の支援制度があり、相談に応じる。



## 津奈木保育園の民営化は どうなっているの

上村 勝法 議員

### つなぎタクシー運行状況は

**問** 平成27年10月からつなぎタクシーの運行が始まり、公共交通空白地域、公共交通不便地域の解消を目指して運行されたが、現在利用している人、また今後利用したい人への調査は行っているのか。また利用状況は、どうなのか。

**答** 調査については、利用登録者を対象に平成28年3月に実施している。利用したい人に対しては、特定が難しいため、実施していない。今後、利用未登録者の意見も聞く必要があるので、実施し意見集約したい。そして利用状況だが、年々ゆるやかに増加している。

平成28年度は3074人、平成29年度は4136人、平成30年度は4460人である。

**問** 本町でも今後高齢者は増加傾向にあるが、今以上に住民が利用しやすいように改善できないのか。

**答** 高齢者対策の一つとして、運転免許証の自主返納された方に対して、町内回数券2冊22回分を交付する事業を昨年10月から行っている。

ことしの10月には、町内外の利用券の組み合わせに変更して交付するところである。広報誌では、毎年利用方法とダイヤを周知させてはいるが、改めてパンフレットを全戸配布し、地区ごとの乗降場所を示したマップを作成して回覧したいと思っている。

改善の具体的な内容としては、料金設定が一番重要と考えている。ほかの交通機関を圧迫することのないように、県内の自治体も参考にして高齢者の方

への料金緩和ができるよう研究したいと思っている。



### 津奈木保育園の民営化について

**問** 全国的な少子化の影響で園児数も減少しつつある。また、地方公共団体における行政改革の推進により、公立保育園での運営において、保育士の確保や負担などで苦慮されていると思われるが、今後の運営についてどのように考えているのか。

**答** 昨年12月に第1回目の保育園民営化検討委員会を開催し、現在まで4回開いている。内容は、町内の園児数の推移と課題で津奈木保育園の現状を説明している。

次に民営化に伴うメリット、デメリットなどの説明を行い、保護者に対し民営化に関するアンケートの内容を検討した。そして、アンケートの結果報告を行い委員との意見交換を実施し、熱心に検討を重ねているところである。

今後、少子化に伴い経営が圧迫することと近隣の市町村も公立を廃止している。そういうことから幼稚園も含め民営化できればと思っている。

## 津奈木町の農業振興の現状は 新品種改植に伴う補助増額は可能か

本山 真吾 議員



### 中山間地域等直接支払制度の 現状はどうなっているのか

**問** 中山間地域等直接支払制度が始まって本年度を持って4期20年が終わろうとしているが、本町の現状はどうなっているのか。

**答** 参加集落数は20集落で、延べ276人が協定参加者である。64歳から74歳までが90人33%の割合、75歳以上が85人31%の割合で全体の65%余りが65歳以上となっている。一方で54歳以下は45人で全体の16%という状況であり高齢化の傾向は今後も続くと考えている。

**問** 協定参加者の高齢化が進むにつれ、5期目以降の活動も厳しくなると思われるが、対策は考えているのか。事務の簡素化はできないのか。

**答** 来年度から始まる新制度では、高齢などで農業生産が出来なくなった場合、その耕作放棄地分の交付金については返還が免除される。しかし、翌年度からはその面積分の交付金は停止される制度設計になる予定である。

また制度が始まった当初に比べ、事務量も増え複雑になっているが、集落事務担当者の負担軽減を行なうため、県に提出する書類の一部を変更・簡素化し、集落から整理されたデータを提供してもらうことによって、役場担当職員が書類作成の一部を支援して、集落事務の軽減を行う。

### 農業振興はどうするのか

**問** 認定農業者および新規就農者の現状について伺う。

**答** 平成31年4月1日現在の認定農業者は60人で、平成25年度81人をピークに21人減少している。原因は5年毎の更新時に高齢などの理由により更新をされないため、ここ数年減少傾向となっている。新規就農者は平成25年に1人、平成30年に1人と6年間で2人であったが今年2人が就農し明るい兆しが見えてきたところである。

**問** 芦北町では農業振興政策として大規模農地整備事業が計画されているが、本町においても農地の集積や整備事業をもっと進めるべきではないのか。

**答** 現在本町においては、農地の大規模基盤整備の計画はないが、県の事業を使い樹園地の集積を進めるべく赤崎犬瀬地区で小規模基盤整備事業を進めている。今のところ町が農地の集積化などに積極的に動いてはいないが、担い手の確保が一番の問題だと認識はしている。今まで取り組んできた大規模農地整備事業でも、高齢化により耕作放棄されている農地もあるため、総合的に考えていく必要があると思う。

**問** 県が柑橘の新品種「EC12」を開発した。県の優良果樹へと指定し、今後改植を進める計画が進行すると思われるが、改植に係る国からの定額補助では農家の負担が大きく、今後の果樹経営の継続のため補助額を増やすことはできないか。

**答** 現在、果樹については水保・芦北地域果樹産地構造改革計画に基づいて苗木の購入補助を行っている。現状では補助の増額は考えていないが、農業者自身が自発的にやっていく姿勢については、出来るだけ協力をしていきたいと思っている。

# わが町を知る！

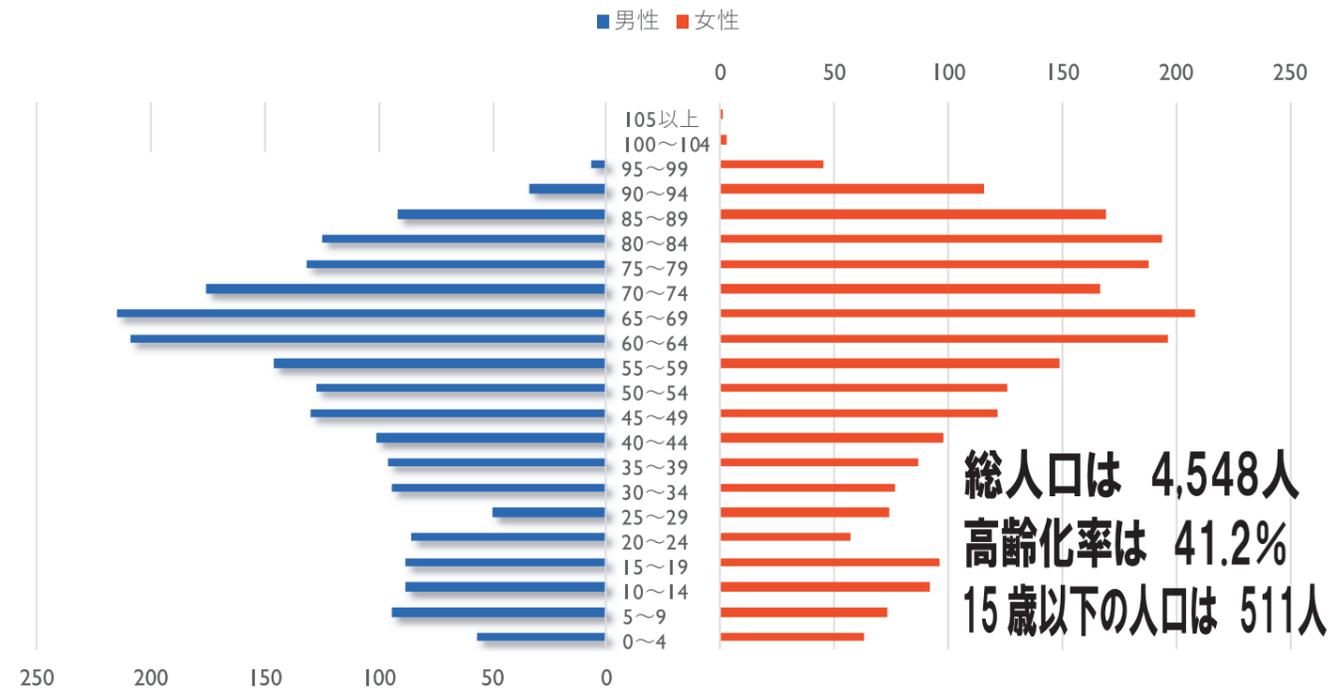
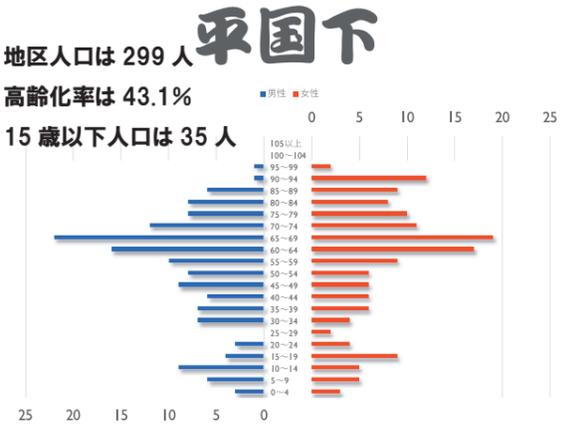
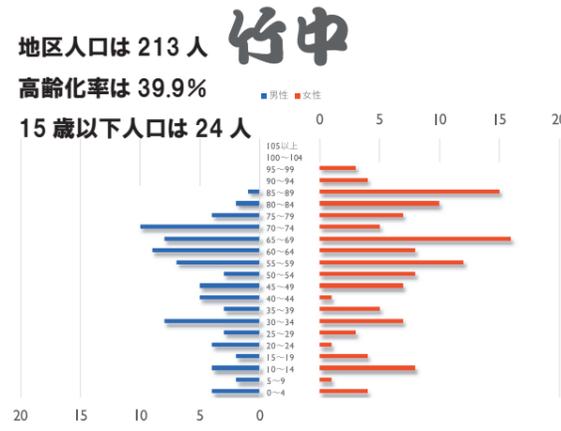
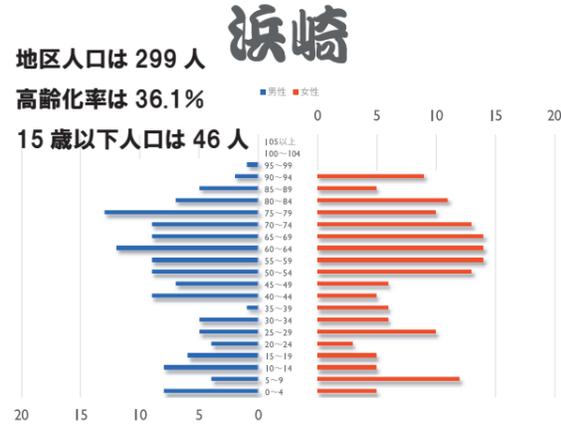
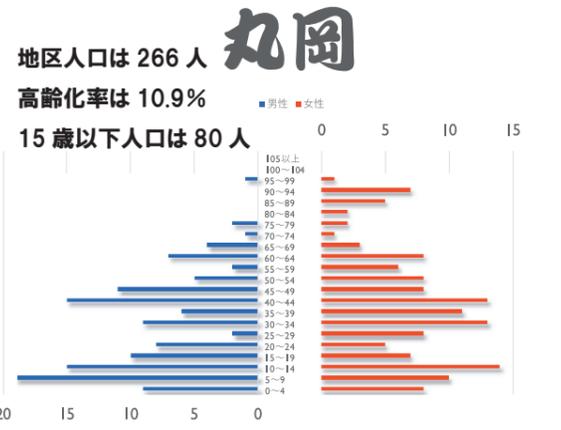
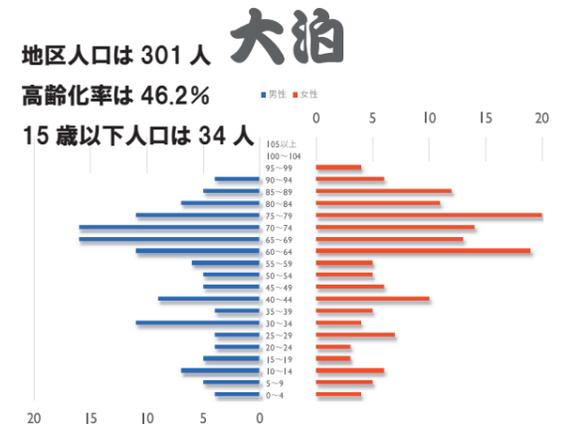
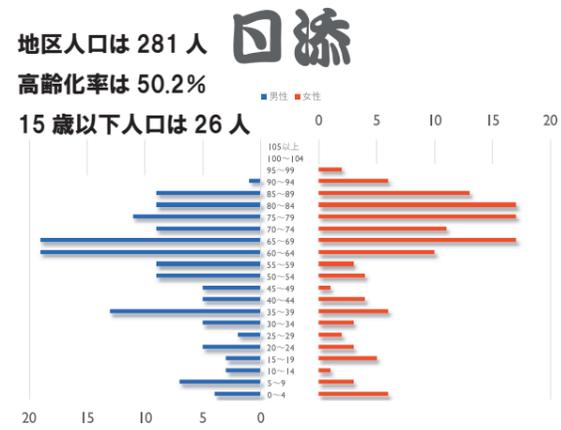
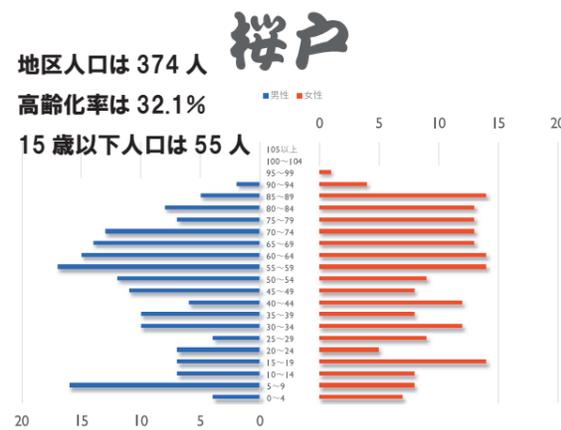
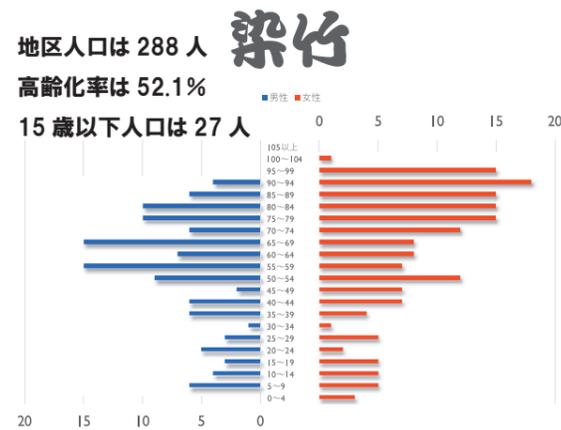
## 止まらぬ人口減少

### 少子高齢化社会の問題点追及のため、各地区の人口形態をグラフ化して報告

平成 27 年 12 月「津奈木町人口ビジョン」策定から約 4 年。人口減少が止まらない。「町報つなぎ」によると、平成 27 年 8 月時の本町の人口は 4,884 人であったが、令和元年 8 月の人口は 4,548 人である。4 年間で 336 人の減少、減少率が約 -6.9% であった。少子高齢化にともない、本町の体育行事にも選手がそろわず棄権する地区が増えてきた。

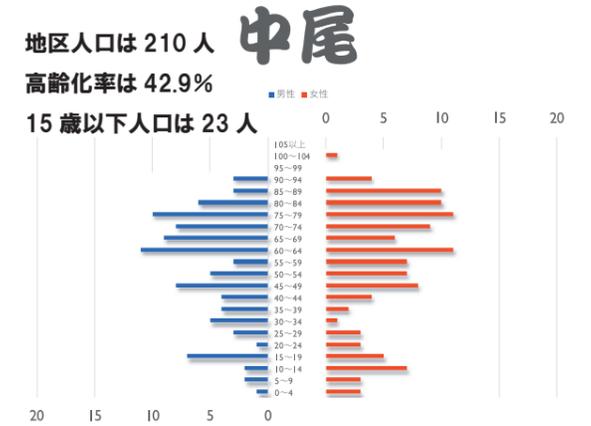
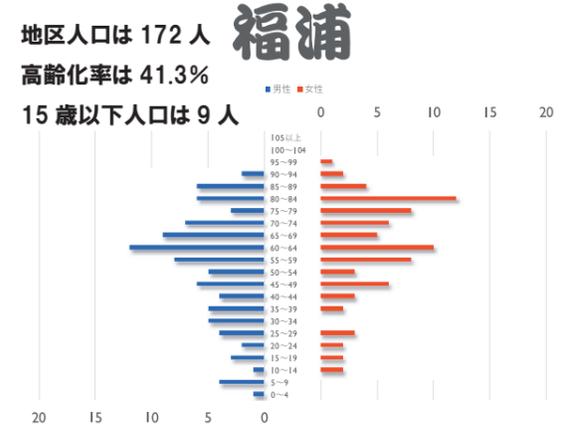
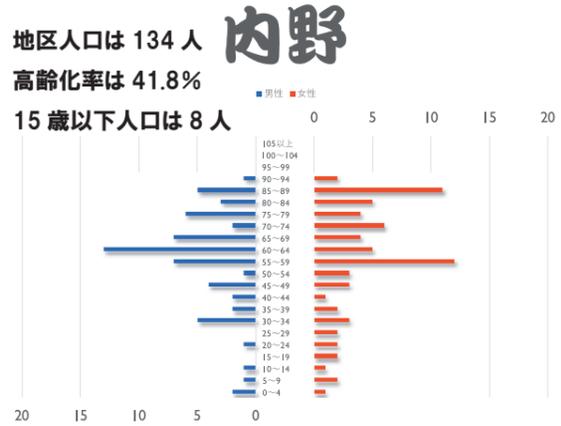
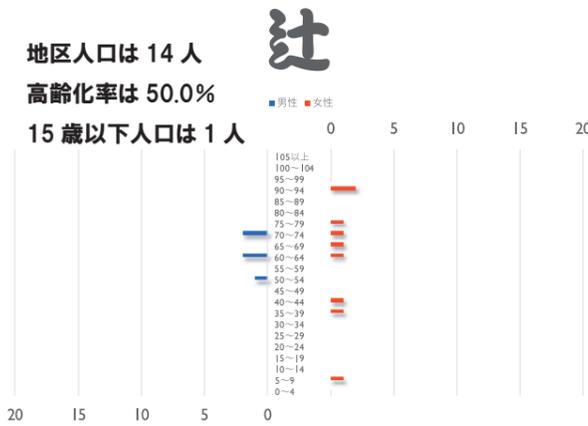
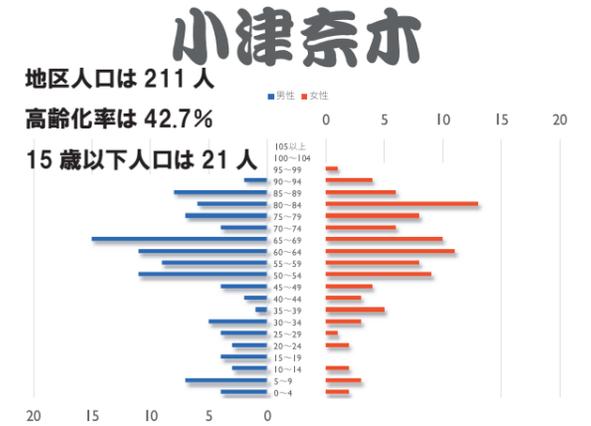
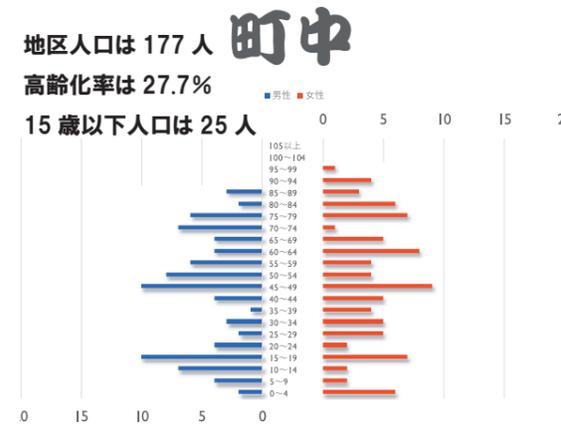
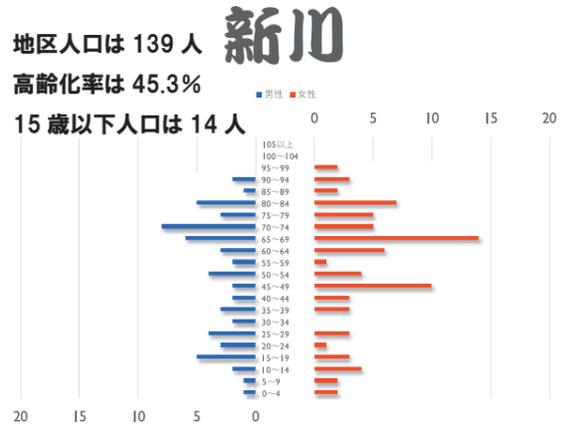
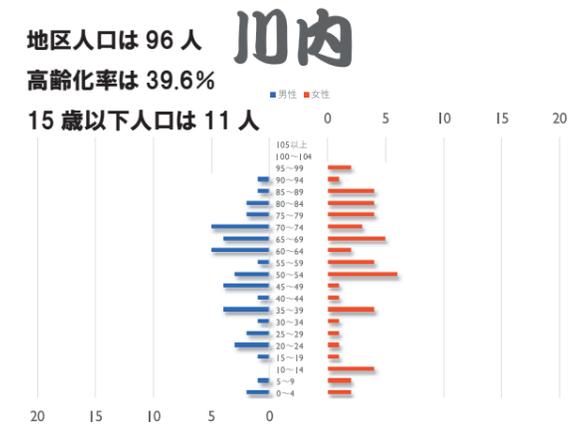
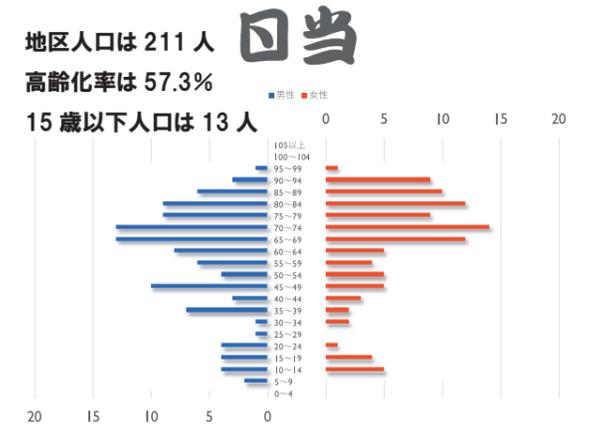
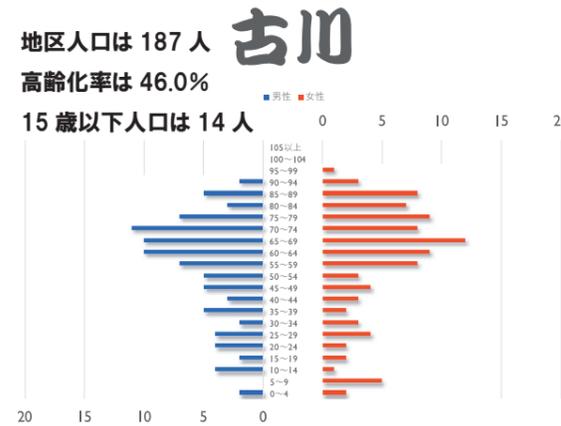
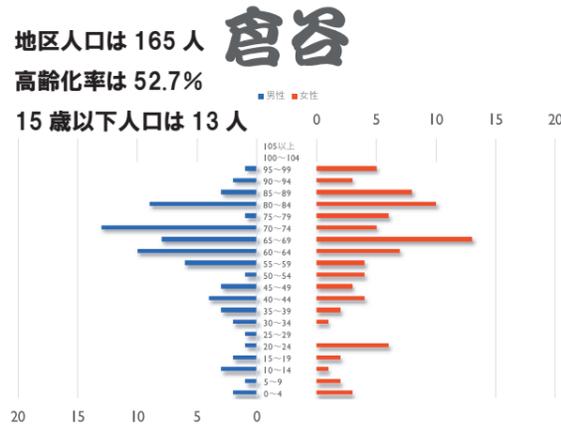
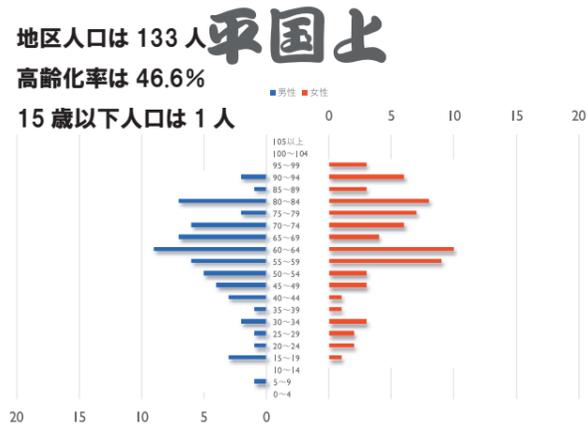
原因は、地区の人口形態が近年かなり変化しているためである。今回、各地区の状況をグラフ化することで、町民に地域の将来を考える機会として現状を共有していただきたい。

# 津奈木町最新年齢別 男女別 人口グラフ



※データは津奈木町住民課より入手したもので、令和元年 8 月 31 日現在です。

なお、染竹地区は「あけぼの苑」、小津奈木地区は「つなぎの里」の特別養護老人ホームが存在するため他の地区とは条件が異なります。ご容赦願います。



**議会のうごき**

**【9月】**

- 3日 議会運営委員会
- 10日～27日 第3回議会定例会
- 30日 広域行政事務組合議会定例会

**【10月】**

- 1日 熊本県町村議会議員研修会
- 8日 防災・危機管理トップセミナー
- 15日 西回り要望活動（福岡）
- 16日 教育住民常任委員会

16日 総務振興常任委員会

**【11月予定】**

- 5日・6日 西回り後期要望活動（東京）
- 13日 第63回町村議会議長全国大会
- 20日 行政視察（浦幌町）
- 22日 熊本県町村議会広報研修会
- 30日 広域行政事務組合臨時議会

**【12月予定】**

- 5日 議会運営委員会
- 11日～13日 第4回議会定例会
- 25日 広域行政事務組合議会定例会

